

モンレー 2016 in 嬭恋

D rally



スタートは、モンレー2016でラリー大会本部 (Rally H.Q) が置かれたパルコール嬭恋スキーリゾート。万座鹿沢口駅からの案内コマ図を準備しましたので、参考にしてください。

スタートの計測ラインは、パルコール嬭恋スキーリゾート入口ゲートの少し先にある看板。
ODは、3図を右折したすぐ先にある右手の裏向き案内標識。道幅が広くないので、速やかに再スタートしてください。



ODとはオドメータチェックポイントの略で、自分の車で走って測った距離と主催者が測った距離を合せる計算をするための基準距離地点の事で、スタートからODまでは丁寧な走り方が必要です。1 図スタートラインでトリップメーターを0にリセットし、コマ図指示に従って走行して3図のOD地点までの自車の走行距離を控えます。このODまでの距離とクイズで出題されている距離計測区間の自車の距離を控えておけば計算は後でゆっくりできますので、クイズ解答の時に以下の計算を行って正解距離を算出して解答して下さい。

[ODまでの自分の車の走行距離] ÷ [ODまでの主催者測定距離] = [補正率] を計算し、
[自分の車の走行距離] ÷ [補正率] = [正解距離] を算出して下さい。
今回は指示速度で走行した場合の所要時間を解答しますので、[正解距離] ÷ [指示速度] で算出してください。 [指示速度] は時速ですので、秒に換算して解答してください。



ODから国道144号まで下り、しばらく国道を走り、嬭恋村役場の手前をJR大前駅方面に右折する。右折時、対向車に十分注意してください。

最初のSS=《SS1/4/6/7 Sajiki》のスタート地点までは、モンレー2016のコースから外れたルートで向かう。JR吾妻線の終着駅・大前駅を過ぎると、連続ヘアピンで一気に標高が上がる。その後、つまごいパノラマラインまで上って行くが、この辺りはキャベツ畑が全くない。

13図でモンレー2016のリエゾンコースに入り、最初のSS=《SS1/4/6/7 Sajiki》に向かう。
14図はミスコース注意！ 目標物が2本の電柱しかなく、入口が狭いので、前図からの距離を参考にして見落とさないように注意してください。

14図の先、林道棧敷山線の入口が最初のSS=《SS1/4/6/7 Sajiki》のスタート地点。
モンレー2016でのSSのスタート地点はもう少し先だが目標物が無いので、林道入口の林道標識をスタート地点とした(各SSともモンレー2016のSSのスタート、フィニッシュ地点とは違っていません)。
《SS1/4/6/7 Sajiki》は、前半上りで後半下りになる。路側帯も多くあり、走りやすい。
その路側帯の数を数えるクイズを設定した。見落とさないように慎重に走ってください。
フィニッシュは、林道の出口。

《SS1/4/6/7 Sajiki start》(14図)



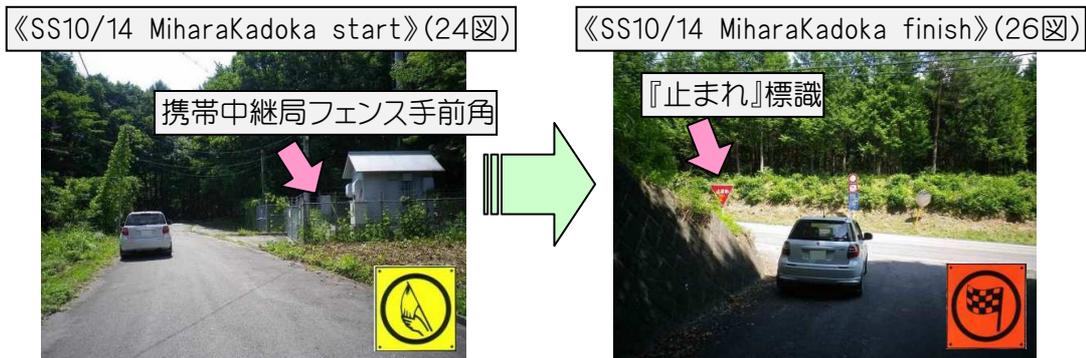
《SS1/4/6/7 Sajiki finish》(15図)



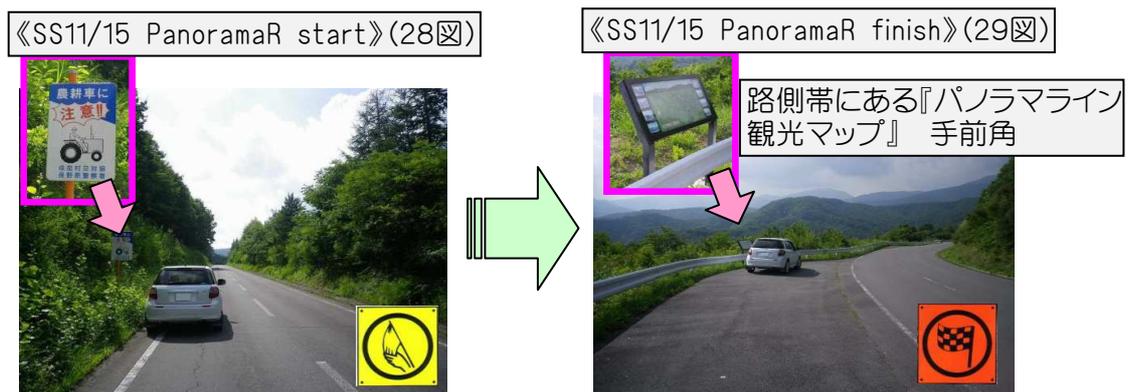
モンレー2016では、つまごいパノラマラインを通り、ラリー大会本部(Rally H.Q)が置かれたパルコール 婦恋スキーリゾート近くまで戻り、《SS2/8 OmaeSuzaka DOWN》を走るが、ドライブラリーのコースでは、途中の愛妻の丘をレストコントロールとした。 ほぼコースの半分を消化しているので、しばし浅間山と田代湖を眺めて疲れを取り、後半の3本のSSに備えてください。

愛妻の丘で休憩を取った後、大横川沿いの道で国道144号に下る。この道は、川の流れの音が聞こえる涼しい道である。 婦恋村の道は、本当に変化に富んでおり、ドライブが楽しめる。是非、エアコンを切って、窓を開けて川の流れを感じながら走ってください。

有料道路の万座ハイウェイを少し走り、途中から林道三原門貝線に入る。途中にある携帯電話の中継局の前が《SS10/14 MiharaKadokai》のスタート。《SS10/14 MiharaKadokai》は、先に走った《SS1/4/6/7 Sajiki》と同様前半上りで後半下りになるが、《SS1/4/6/7 Sajiki》より勾配が緩やかで走りやすい。 但し、途中コマ図もあり、キャベツ畑もあるので十分に注意して走ってください。 婦恋村のキャベツ畑と言えば広大なイメージがあるが、このSS沿いにあるキャベツ畑は、山の谷あいになり棚田の様な雰囲気である。 万座ハイウェイとの合流地点がSSのフィニッシュ。



《SS10/14 MiharaKadokai》からは、モンレー2016と全く同じリエゾン区間の移動で、同じ順番でSSを走る。万座ハイウェイを下り、草津へ抜ける県道からつまごいパノラマラインに入る。パノラマラインに入ってすぐの地点が、《SS11/15 PanoramaR》のスタート。 今までのSSのスタート地点より、交通量が多いと思われるので、速やかにスタートしてください。モンレー2016では、広く眺めが良い道で、ハイスピードSSの《SS11/15 PanoramaR》だが、ドライブラリーでは、秒計測区間(1秒単位で所要時間を解答)とし、道路標識の数を数える問題を設定したので、見落とさないように慎重な運転をお願いします。 また、フィニッシュ地点が右カーブの先突然現れる路側帯なので、行き過ぎに注意してください。



フィニッシュ後、パノラマラインを下り、県道112号に入り最後のSS《SS12/16 OmaeSuzaka UP》に向かう。スタート地点は、「牛首橋」の出口。後続車に注意して速やかにスタートしてください。このSS区間は、モンレー2016では、UP、DOWNの両方向使われるが、ドライブラリーではUPのみ走る。県道なので先ほどの《SS11/15 PanoramaR》と同じ道幅だが、木々の中を走るため眺望が効かず、ヘアピンコーナもあるため、よりテクニカルなSSである。 コーナの先突然現れるコマ図33図の直角カーブもあるので、くれぐれも安全な速度で走って欲しい。 フィニッシュは、太陽光発電所を過ぎた先の電柱。 行き過ぎに注意してください。

《SS12/16 OmaeSuzaka UP start》(32図)



《SS12/16 OmaeSuzaka UP finish》(34図)



ドライブラリーのフィニッシュは、34図すぐ先の『パルコール婦恋スキーリゾート』入口ゲート。
 モントレー2016では、パルコール婦恋スキーリゾートホテル前の
 駐車場スペースで、スーパーSSが行われたが、このゲートがタイム
 コントロールポイントだった。
 ゲートの先右折した地点がSSSのスタート地点。
 流石にSSSを楽しんで頂く訳にはいかないので、ゆっくりと駐車場
 まで上がってください。
 土日、祝日は、ゴンドラとのセットで温泉の日帰り入浴もできます
 ので、ゴンドラでの空中散歩と温泉を楽しみ、疲れを取ってから
 帰路についてください。



※今回のコース途中で、トイレがある場所は下記の通りです。
 鹿沢温泉(15図先右手) 愛妻の丘(17図) 28図の手前右手



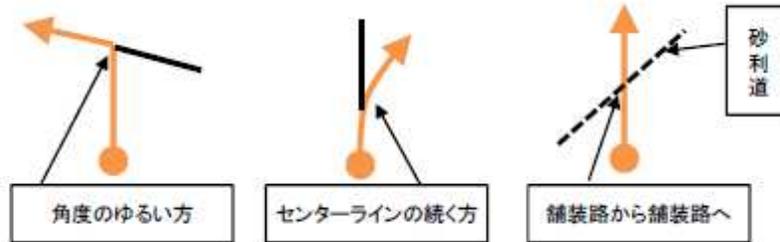
主催:モントレー大会組織委員会 企画・制作:NPO法人MOSCO コース作成:DRPJ(松本)

◎参加するにあたって注意事項

1. 民家の近くでは特にスピードを落とし、飛び出しには十分注意して走行してください。
 このコースは、婦恋村内の生活道路も一部通過します。地元の人たちに迷惑をかけるような走行は
 しないでください。
2. 夜間走行は行なわないでください。
 昼間走って楽しいように設定してあります。夜間走行は地元の人たちの安眠妨害になりますクイズ
 の解答ができません。特に、夜、ラリーの練習気分で走行することは絶対行なわないで下さい。
3. 自分の責任の元に安全運転に心がけて参加してください。
4. 参加者が当ラリー参加中、或いは、それに関する走行等で生じる事故やトラブル等があってもコース
 作成者や主催者は一切の責任を負わないものとし、参加者はその旨を了承したものとします。
5. 参加者は、道路交通法を遵守し、走行願います。これに違反し、事実が確認された場合、主催者は
 当該参加者に対し、失格等の処分を下すことがあります
6. CPやクイズの場所は必ずしも道幅が広い所ばかりではありません。他のクルマに迷惑にならない
 ように左に寄せるよう心がけてください。
7. 通行止めがあった場合、該当区間に「通行止」と解答してください。
 クイズは、歩いていける場合、または、迂回していける場合には可能な限り解答願います。

◎モンレー《D》ラリーの走り方ガイド

1. 実際にコースを走り出す前にドライバー、コドライバーの二人で「コース全体図」と「モンレー《D》ラリー指示書」を確認し、コース全体のイメージをつかんで下さい。
2. スタート前に必ずコマ図の中にクイズの場所や観光情報を書き込んでおき、走行中はコマ図だけ見れば全ての情報が分かるように準備しておくのがコツです。
3. コース全体図はあくまでも道の概略図です。大まかな目安として利用して下さい。
CP及びクイズ位置はできるだけ正しい位置を示すようにしていますが、正確ではありません。
4. 実際の走行は「コマ図」に従って走行します。コマ図はページの左上の1図から下に向かって番号順に続きます。コマ図の指示が無い交差点や曲がり角は道なり走行で通過します。道なり走行の判断は、直進が基本で、他の場合は以下のようにして下さい。



5. コマ図は曲がらなければいけない所に、その場所を特定できる目標物が記入されていますので、ドライバー、コドライバー二人で前をよく見て、コマ図と同じ道の形状で、コマ図に記入されている目標物がある地点に来たら指示された方向に進んでください。
6. コマ図地点を見落として通り過ぎてしまうと「ミスコース」になります。
距離計測区間以外であればミスコースは問題ありませんので、急ぐ必要はありませんから落ち着いて手前のコマ図まで戻り、コースに復帰して下さい。
7. ミスコースしやすいコマ図地点にはミスコース注意が記入してあるので十分注意して下さい。

◀コマ図内記号説明▶

